



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月5日

上場会社名 愛知電機株式会社
 コード番号 6623
 代表者 取締役社長 山田 功
 問合せ先責任者 経営企画部長 小林 和郎

上場取引所 名証一部
 URL <http://www.aichidenki.jp>

TEL (0568) 31-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	44,788 8.4	1,311 △16.8	1,535 △20.6	1,197 17.4
19年3月期第3四半期	41,315 17.7	1,575 89.1	1,934 61.1	1,020 26.7
19年3月期	58,227	2,841	3,187	1,846

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	24.88	—
19年3月期第3四半期	21.19	—
19年3月期	38.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	69,743	29,028	40.7	589.90
19年3月期第3四半期	71,739	27,650	37.7	562.27
19年3月期	73,059	28,644	38.4	582.00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	2,073	△3,592	△2,155	10,602
19年3月期第3四半期	1,412	△1,007	369	9,980
19年3月期	2,750	1,701	616	14,272

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	61,500 5.6	1,900 △33.1	2,200 △31.0	1,700 △7.9	35.31

(注) 平成19年11月15日発表の業績予想に変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔注〕詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定を前提としているため、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の売上高につきましては、447億8千8百万円となり、前年同期に比べ8.4%の増加となりました。

セグメント別では、電力機器部門は中大形変圧器や海外での電力供給設備工事などが増加し、158億1千万円と前年同期に比べ7.5%の増加、回転機部門はプリント配線板は減少しましたが、小形モータが増加したことから289億7千8百万円と前年同期に比べ8.9%の増加となりました。

利益面につきましては、売上高は増加しましたが、原材料価格の高止まりや税制改正に伴う減価償却費の増加などの影響を受け、営業利益は13億1千1百万円と前年同期に比べ16.8%の減少、経常利益は15億3千5百万円と前年同期に比べ20.6%の減少となりました。また、四半期純利益につきましては11億9千7百万円と前年同期に比べ17.4%の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、697億4千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ33億1千6百万円減少しました。主な増減の内容は、資産の部では、棚卸資産が13億3千万円、有形固定資産が20億1千8百万円増加し、現金及び預金が44億7千万円、受取手形及び売掛金が34億7千1百万円減少しました。負債の部では、有利子負債が18億2千2百万円、支払手形及び買掛金が16億1千4百万円減少しました。純資産は、290億2千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億8千4百万円増加しました。

自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.3ポイント増加し、40.7%となりました。

また、キャッシュ・フローの状況については、現金及び現金同等物（資金）の当第3四半期末残高は前連結会計年度末と比べ36億7千万円減少の106億2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期における営業活動によって得られた資金は、20億7千3百万円（前年同期比6億6千1百万円増）となりました。これは、主に棚卸資産の増加額12億5千3百万円及び仕入債務の減少額16億2千4百万円などの資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益16億7千7百万円及び売上債権の減少額37億3千4百万円などの資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期における投資活動によって使用した資金は、35億9千2百万円（前年同期比25億8千5百万円支出増）となりました。これは、主に子会社の工場新設など、有形固定資産の取得に35億1千9百万円を支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期における財務活動によって使用した資金は、21億5千5百万円（前年同期比25億2千5百万円支出増）となりました。これは、主に長期借入による収入もありましたが、長期借入金を43億9千3百万円返済したことによるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については、法定実効税率をベースとした簡便的な方法によっております。

また、その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成19年12月31日現在)	前第3四半期末 (平成18年12月31日現在)	増 減	(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)				
I 流動資産	42,052	42,147	△ 95	46,906
現金及び預金	10,727	10,905	△ 178	15,197
受取手形及び売掛金	17,351	19,259	△ 1,908	20,822
棚卸資産	11,500	11,152	348	10,169
その他	2,478	840	1,637	729
貸倒引当金	△ 4	△ 10	6	△ 12
II 固定資産	27,691	29,592	△ 1,901	26,152
1. 有形固定資産	18,284	15,351	2,933	16,266
2. 無形固定資産	110	45	64	63
3. 投資その他の資産	9,296	14,195	△ 4,899	9,822
資産合計	69,743	71,739	△ 1,996	73,059
(負債の部)				
I 流動負債	25,320	28,182	△ 2,861	29,341
支払手形及び買掛金	16,120	17,819	△ 1,699	17,734
短期借入金	4,926	7,103	△ 2,176	7,192
1年以内に償還予定の社債	1,250	250	1,000	1,250
その他	3,023	3,008	14	3,164
II 固定負債	15,393	15,907	△ 514	15,073
社債	250	1,500	△ 1,250	500
長期借入金	7,085	6,218	866	6,391
退職給付引当金	7,261	7,160	100	7,173
その他	796	1,028	△ 231	1,008
負債合計	40,714	44,089	△ 3,375	44,414
(純資産の部)				
I 株主資本	26,905	25,221	1,683	26,046
II 評価・換算差額等	1,492	1,851	△ 358	1,974
III 少数株主持分	631	577	53	624
純資産合計	29,028	27,650	1,378	28,644
負債純資産合計	69,743	71,739	△ 1,996	73,059

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第 3 四半期	前第 3 四半期	増 減	(参考)
	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
I 売上高	44,788	41,315	3,473	58,227
II 売上原価	39,571	35,770	3,800	50,003
売上総利益	5,217	5,545	△ 327	8,224
III 販売費及び一般管理費	3,905	3,969	△ 63	5,383
営業利益	1,311	1,575	△ 264	2,841
IV 営業外収益	512	632	△ 119	806
V 営業外費用	289	273	15	459
経常利益	1,535	1,934	△ 398	3,187
VI 特別利益	182	17	165	223
VII 特別損失	40	173	△ 132	306
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,677	1,778	△ 100	3,104
税金費用	466	713	△ 247	1,171
少数株主利益	12	43	△ 30	86
四半期(当期)純利益	1,197	1,020	177	1,846